

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	大腸癌肝転移症例におけるインドシアニングリーンクリアラン（ICG）検査を使用したオキサリプラチンに関連する肝障害の術前評価
該当者	2014年から2019年に大腸癌肝転移で肝切除を受けられた方
当院の研究責任者	外科 三田地克昂
研究代表者	外科 三田地克昂
本研究の目的	大腸癌治療の抗がん剤であるオキサリプラチンは肝障害を起こすことが知られています。一方、肝切除の術前には肝障害度の指標となるICG検査を行います。本研究では、オキサリプラチンの使用の有無でICG検査結果に影響を及ぼすかを検証します。
実施予定期間	2014年1月1日～2019年12月31日
研究の方法	この調査では、当院の入院治療において、2014年1月1日～2019年12月31日までの間に、大腸癌肝転移にて肝切除を行った方の電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断、術式、術前ICG検査結果、治療経過、合併症
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を第34回日本肝胆膵外科学会で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	外科 三田地克昂 023-685-226